

F-15 戦闘機の左エンジン構成品の一部不時落下

1 日 時 :

平成21年11月25日(水) 15:18頃

2 場 所 :

北海道千歳飛行場の北北西約210kmの洋上

3 部隊等 :

第2航空団第201飛行隊

4 概 要 :

航空自衛隊千歳基地所属のF-15戦闘機が、日本海上空で戦闘機戦闘訓練を行っていた際、左エンジンの異常を示す警報音及び警報灯が作動した。当該機は、直ちに僚機による外観点検を実施し、左エンジン構成品の一部が脱落・紛失しているのを確認した。

なお、千歳飛行場に帰投するまでの間、僚機は外観点検を実施した以降、継続して当該機の状況を確認していたが、当該機からのそれ以外の部品落下は確認されていない。

(欠落した左エンジン構成品の一部:長さ約2.2m、直径約1.2m、重さ約200kg)

5 推定原因 :

現在、調査中。

6 事後の対応 :

11月25日(水)以降、航空自衛隊のF-15保有部隊において、エンジン部分の点検及び処置とエンジン関連の緊急手順等の再教育を実施し、本点検・教育等終了後の11月26日(木)から、F-15の飛行訓練を実施した。

